

## 7. 感染症学研究室

## 1. 千葉県感染症情報センター（感染症学研究室内）

感染症法に基づく千葉県基幹感染症情報センターとして千葉市地方感染症情報センターの協力を得て、千葉県における感染症発生情報の収集、解析、提供、公開を行っている。

対象感染症は第1類（7疾患）、第2類（6疾患）、第3類（1疾患）、第4類（30疾患）、第5類全数把握（14疾患）、第5類定点把握（28疾患）に分類されている。

表1

類 型	疾 患 名	2002	2003	2004	2005	2006
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る）	—	0	0	0	0
	痘そう	—	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0
二類感染症	ラッサ熱	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0
	コレラ	10	0	6	6	5
	細菌性赤痢	86	24	41	55	70
	ジフテリア	0	0	0	0	0
	腸チフス	3	3	4	3	5
三類感染症	パラチフス	1	2	6	1	2
	腸管出血性大腸菌感染症	143	98	137	137	128
四類感染症	E型肝炎	—	0	1	1	1
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	—	0	0	0	0
	A型肝炎	—	0	4	4	4
	エキノコックス症	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	1
	回帰熱	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	—	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	1	0	1	0	0
	サル痘	—	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0
	つつが虫病	19	19	17	29	39
	デング熱	1	1	1	15	8
	ニパウイルス感染症	—	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	4	0	0
	日本脳炎	0	0	6	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0
	マラリア	1	0	1	2	4
	野兔病	—	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	—	0	0	0	0	
レジオネラ症	2	1	1	4	15	
レプトスピラ症	—	0	2	0	0	
五類感染症 全数把握	アメーバ赤痢	20	23	34	21	37
	ウイルス性肝炎（E型肝炎A型肝炎を除く）	—	11	7	7	4
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	—	0	6	12	19
	クリプトスポリジウム症	5	0	54	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	4	6	11	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	1	2	1	9
	後天性免疫不全症候群	41	42	56	49	48
	ジアルジア症	4	2	13	0	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	2	0	0	0	0
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0
	梅毒	10	8	12	10	18
	破傷風	3	2	4	5	7
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	0	1	1	3

千葉県基幹感染症情報センターでは、毎週「千葉県の感染症情報」として保健所、定点報告医療機関等へはFAX情報サービスシステムで提供し、また県民へはインターネットホームページで公開している。この事業内容については千葉県結核・感染症発生動向調査委員会において検討が行われる（18年度は6月15日、9月21日、12月21日、3月15日に開催した）。

ホームページ「千葉県の感染症情報」の概要は以下のとおりである。

アドレス：URL <http://www.phlchiba-ekigaku.org>

- ・週報：第5類定点把握感染症の当該週の発生状況及びコメント、当該週までの過去5年間の発生状況グラフ、管轄保健所別年齢別疾患報告数

- ・月報：当該月の第1類～第3類感染症、第5類感染症全数把握、第5類感染症定点把握の一部（性感染症定点、基幹定点の一部）の発生状況

- ・各感染症の分類
- ・各感染症の概要「医師から都道府県知事等への届出のための基準」
- ・感染症関連機関へのリンク
- ・インフルエンザ情報（2003年以降）
- ・1999年第1週（1月）から当該週（月）の前週（月）までの週報、月報

なお、千葉県における最近5年間（2002～2006年）の感染症報告数については、第1～5類全数把握感染症を表1に、第5類定点把握（28疾患）感染症を表2に示した。

表2

	定点の種類	疾患名	2002	2003	2004	2005	2006
週報	5類小児科定点	RSウイルス感染症	—	27	159	301	479
		咽頭結膜熱	487	1,418	2,560	1,280	2,735
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9,007	10,622	10,844	9,491	13,522
		感染性胃腸炎	41,432	40,392	37,193	35,810	44,609
		水痘	12,159	9,500	12,066	10,934	9,918
		手足口病	2,708	6,482	4,574	2,801	2,147
		伝染性紅斑	1,890	1,749	3,579	1,905	3,168
		突発性発疹	5,133	5,241	4,921	4,492	4,359
		百日咳	48	59	96	85	225
		風疹	81	152	198	59	40
		ヘルパンギーナ	6,548	5,914	4,839	6,644	5,844
		麻疹(成人麻疹を除く)	1,321	623	72	34	91
		流行性耳下腺炎	5,976	2,541	7,452	9,275	5,104
	5類インフルエンザ定点	インフルエンザ	35,315	48,536	32,203	69,160	39,143
5類眼科科定点	急性出血性結膜炎	57	58	79	50	52	
	流行性角結膜炎	1,927	1,475	1,296	1,257	1,272	
5類基幹定点	細菌性髄膜炎	9	10	13	4	8	
	無菌性髄膜炎	37	28	13	10	15	
	マイコプラズマ肺炎	102	91	84	71	163	
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	63	53	22	38	18	
	成人麻疹	39	12	2	0	5	
月報	5類基幹定点	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	752	490	421	1,145	730
		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	591	786	1,080	503	471
		薬剤耐性緑膿菌感染症	13	12	9	16	14
	5類STD定点	性器クラミジア感染症	1,334	1,305	1,370	1,283	1,177
		性器ヘルペス感染症	353	310	338	419	428
		尖形コンジローマ	267	257	242	244	191
		淋菌感染症	591	473	476	429	381
	その他の非淋菌性尿道炎	1,008	841	893	983	1,276	

2. 感染症集団発生時の疫学調査業務

千葉県内での感染症集団発生時に保健所、疾病対策課、衛生指導課、薬務課あるいは健康危機対策室などから要請があった場合、疫学調査に関する助言および調査に必要な情報の収集、解析、提供を行っている。

3. 健康危機対策研修会

健康福祉センター（保健所）の感染症・食中毒担当者研修を対象とした研修会に講師を派遣しており、感染症

担当職員研修会（5月11日、12日：衛生研究所講堂）、基礎研修会（6月20、22日：文書館）および疫学研修会（9月5日、12日：都町庁舎総務部情報政策課研修室）を行なった。

また、昨年度同様18年度も健康危機対策の強化のため健康危機対策室と共同で「地域保健推進特別事業・健康危機事案発生時の情報共有システム事業」を実施した。この事業では、健康福祉センター（保健所）で対応した健康危機事例の情報を、県庁、健康福祉センター（保健

所)、衛生研究所で共有するためにメーリングリストのシステムを構築し、システムの運用を行った。さらに、山武郡市養護教諭研修会(10月18日:成東文化会館)、健康危機事例検討会(11月24日、3月14日:文書館)、社会福祉施設等における感染症対策における研修会(12月15日:印旛健康福祉センター)などを行った。

#### 4. 衛生研究所の情報公開

衛生研究所で行っている業務、調査研究について、総務および各研究室の協力を得て関係諸機関、一般県民に対しての公開を行っている。18年度は以下の編集、発行を行った。

- 1) 千葉県衛生研究所年報54号(2006年12月発行)
- 2) 千葉県衛生研究所情報誌「Health21」No.15(2006年9月15日発行)、No.16(2007年2月9日発行)

「Health21」の内容は以下の通り。

#### No.15:

- ・「衛生研究所・がんセンター研究局整備事業」について:  
所長 天野 恵子

- ・「食物アレルギー」について:

食品化学研究室 橋本 博之

- ・基本健診データ収集システム確立事業の結果から:

健康疫学研究室 須田 和子

- ・平成17年度優良職員表彰を受けました

#### No.16:

- ・感染症対策に思う: 次長 鶴岡 佳久

- ・ペットのイグアナから感染したと考えられる乳児のサルモネラ症: 細菌研究室 依田 清江

- ・2006年千葉県の麻疹(はしか)の流行から-お誕生日に、そして、小学校入学前に麻疹風疹ワクチンを-:  
感染疫学研究室 一戸 貞人

- ・第45回千葉県公衆衛生学会発表演題

#### 5. 図書の管理

衛生研究所で定期購読している、洋雑誌23種(表3)、和雑誌27種(表4)、および寄贈報告書(千葉県の研究所、全国の地方衛生研究所など)の管理を行っている。

表3 洋雑誌目録

---

Abstract on Hygiene & Communicable Disease
Analytical Chemistry
Experimantal Biology and Medicine
International Journal of Eoidemiology
Jounal of AOAC International
Journal of American Water Works Association
Jounal of Chromatographic Science
Jounal of Economic Entomology
Journal of Infectious Disease
Water Enviornment & Thechnology
電子ジャーナル
All of online ASM journals
Antimicrobial Agents and Chemotherapy
Applied and Environmental Microbiology
Clinical and Vaccine Immunology (2006)
(formerly Clinical and Diagnostic Laboratory Immunology)
Clinical Microbiology Reviews
Eukaryotic Cell
Infection and Immunity
Journal of Bacteriology
Journal of Clinical Microbiology
Journal of Virology
Microbiology and Molecular Biology Reviews
Molecular and Cellular Biology
Minireview Collection of all Journals
Journal of Food Protection

---

表4 和雑誌目録

---

日本医事新報	日本医事新報社
医学のあゆみ	医師薬出版
科学	岩波書店
臨床病理	金原出版
公衆衛生情報	新企画出版社
公衆衛生	医学書院
厚生指標	厚生統計協会
検査と技術	医学書院
臨床検査	医学書院
臨床と微生物	近代出版
食品衛生	日本食品衛生協会
BIO Clinica	北隆館
医薬品研究	日本公定書協会
月刊・薬事	薬事時報社
分析化学	日本分析化学会
ぶんせき	日本分析化学会
化学と生物	学会出版センター
用水と廃水	産業用水調査会
水処理技術	日本水処理技術研究会
下水道協会誌	日本下水道協会
水道協会雑誌	日本水道協会
資源環境対策	公害対策技術同友会
食品衛生研究	日本食品衛生協会
GPネット	環境衛生研究会
化学	化学同人
Analytical Sciences	日本分析化学会
日本薬局方フォーラム	日本公定書協会

---